

1 説明会及び意見募集の結果

(1) 説明会の開催日程

実施年月日	時間	会場	来場者数
6月19日(水)	午後6時～8時	中央町社会教育館	8人
22日(土)	午後1時～3時	目黒本町社会教育館	11人
26日(水)	午後6時～8時	東山社会教育館	5人
7月2日(日)	午後6時～8時	目黒区民センター社会教育館	21人
12日(金)	午後6時～8時	緑が丘文化会館	8人
20日(土)	午後1時～3時	総合庁舎	8人
合計			61人

(2) 意見募集

- ア 受付期間 令和6年6月19日から7月20日まで
- イ 受付件数 25件

(3) 説明会及び意見募集でいただいた主な意見

ア 新たな建物高さ（高さ制限）のイメージ

- ・災害対策で合理的な理由があることがとてもよく理解できた。防災のためにも応援している。
- ・時代に合わせた建物の建築を許容していくことが趣旨だと理解した。説明を聞いて納得できた。
- ・「程よい」くらいの緩和に留めてほしい。
- ・高さ制限を急激に緩和して、いわゆるタワーマンションばかり建つようになるイメージではないことが分かり、安心した。
- ・高さ制限を緩和する代わりに何か新たな制限を設けるなど、周辺への影響などを含め、多角的に検討すべきである。
- ・高さ制限を変更する必要はないと思う。

イ 建物の高さに関連して不安に思うこと

- ・どう街並みが変わるのか、シミュレーションがあると安心できるが、現時点ではそもそも具体的なイメージがわからない。
- ・高さ制限を緩和すると、ゆとりのある建物を建てるのではなく、階数をより詰め込むような、本来の意図とは異なる動きが出てくるのではないか。

2 アンケートの実施結果

(1) 目的

- ア 説明会で説明した内容の周知
- イ これからの目黒区にふさわしい建物の高さについての区民意見の把握

(2) 実施期間

令和6年7月31日から8月30日まで

(3) 対象範囲

ア 単純無作為抽出法による標本調査

イ 令和6年7月1日時点で住民基本台帳に登録されている満18歳以上の区民2,500人

(4) アンケート結果

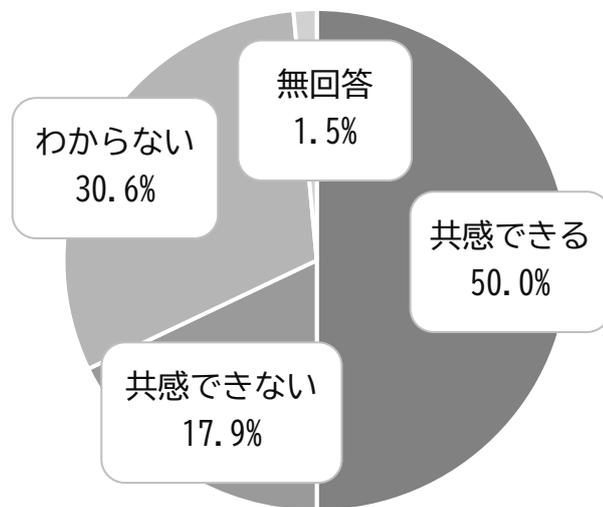
回収数 542 件（回収率 21.7%）

実現される目黒区の姿に向けた高さ制限の見直し検討について、約5割が「共感できる」

高さ制限の見直し検討への共感（N=542）

項目	回答数（人）	回答割合（%）
共感できる	271	50.0%
共感できない	97	17.9%
わからない	166	30.6%
無回答	8	1.5%

※「共感できる」のうち19件（約3.5%）は、理由の記述から、高さ制限を現在よりも厳しくする意向であった。



ア「共感できる」の意見

- ・時代のニーズは変わるので、制限もタイムリーに更新していくべき。
- ・防災減災をより高めていけるのであれば、高さ制限の見直しは必要。
- ・駅の周りや目黒通り、環七などでは高さ制限の見直しを検討して、新しいイメージが持てる地域に生まれかわってほしい。
- ・共感できるが、オフィスビル、店舗など大きいものができることにより、今まで住んでいた人が住みづらさを感じてしまうことは懸念。
- ・現在住んでいるマンションが、老朽化しているが制限により改築できないため。

イ「共感できない」の意見

- ・日照権への影響がわからない。
- ・あまり高いビルがたくさんある街は好ましくない。
- ・高層ビルなどの建設を目指していると思われ、現在の住環境が奪われるのではないかと心配。
- ・得をするのは、マンション業者だけ。
- ・「高さ制限の見直し」＝「実現される目黒区の姿」にはならない。建物の高さよりも、建物のバリアフリーなどを見直すべき。
- ・デメリットに一切触れられておらず、安心して検討を任せられない。

ウ「わからない」の意見

- ・高さ制限を見直すことで、「目黒区の姿」がどう実現されるのか、具体的なイメージがわからなかった。
- ・今の高さ制限で、見直すとどうなるのかわからない。
- ・第一種低層住居専用地域が除外されている理由、高層化による景観への影響や日照問題への解決策等が資料からわからなかった。
- ・共感できる部分もあるが、景観も心配。
- ・高さ制限だけ緩和しても、階層が多くなるだけの建物を建てる業者が出てくるだけだと思う。